

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立前芝小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0014

愛知県豊橋市前芝町字西堤 30

E-mail maeshiba-e@toyohashi.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 107名 女子 95名 合計 202名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1, 2-1 に対応

当校は、「大好き 前芝」をテーマに、ESDを「地域に学び、ふるさとを愛する子の育成」の場と捉え、ESDの実践を通して問題解決の能力・自己の生き方・コミュニケーション能力を身につけさせることを目標とした。

具体的には、体験活動を柱に、①環境に係わる学習、②防災に係わる学習、③平和に係わる学習を行った。

①環境に係わる学習

10月3日、みなと塾（校区の加藤正敏さん主催）の方々の協力のもと、六条潟の生き物調査を行った。3年生は、干潟の砂を掘り起こし、干潟の生き物調べを行った。

4年生は、30cm平方の木枠内の砂を掘り起こし、その中のアサリの個数と重さを調べ、グループごと、ワークシートに結果をまとめ、全体の集計を出していった。

5年生は、稲作体験をすることで、米ができるまでの大変さを実感するとともに、稲の成長過程で、様々な生き物が関わっていることに気づいた。

②防災に係わる学習

8月7日の竜巻による被害、東日本大震災のビデオ視聴による子どもたちの思いを足掛かりに、校区の防災について考えた。前芝町を歩いて調査し、避難の際、危険と思われる箇所を見つけ、対策について考えた。発表会には、地域の防災リーダーの方を招き、アドバイスをいただいた。子どもたちが見つけた危険箇所を防災コミュニティーマップに新たにつけ加え、作成したマップを校区市民館に提示して、地域の方に向けて情報発信を行った。

③平和に係わる学習

校区の戦争との関わりについて調べ、わかったことや考えたことを個々にまとめた。戦争当時の様子を詳しく知るために、豊橋ユネスコ協会の方々をゲストティーチャーとして招き、当時の社会の様子や人々の暮らしについて、資料を見せていただきながら話を聞くことができた。空襲体験の話聞くこともでき、平和について改めて考える機会となった。



①の写真（干潟の生き物調べ）



①の写真（干潟のアサリ調査）



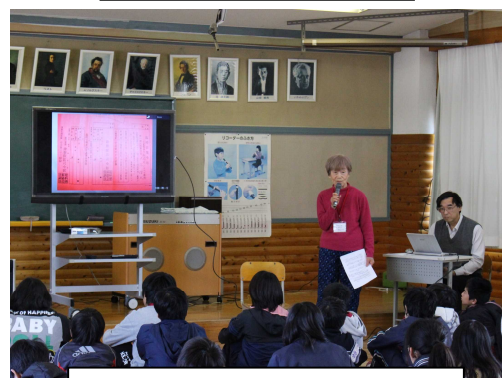
①の写真（海苔すき体験）



①の写真（田植え体験）



②の写真（校区の危険箇所調べ）



③の写真（戦争体験の話聞く）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解, 文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間の中に単元として位置づけており、年度初めに、年間の学習計画が提案される。単元は、いくつかの小単元で構成され、小単元ごとに身につけさせたい力を設定している。提案された内容について、各学年で確認をし、必要に応じて単元構想を立て直したり、出前講座を活用したりして、子どもたちがよりよい学びができるように工夫している。また、学年ごと、身につけさせたいスキルが設定されている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合的な学習の時間の学習計画の見直しを年度末に行い、実施時期や内容の変更が必要な場合は、年度中に変更しておくことで、次年度の活動が円滑に進むようにしている。また、前芝学校教育支援人材バンクが作成されており、学習内容に応じて、担任が教頭に相談し、人材バンクに登録されている地域の方と連絡を取ってもらえるようになっている。そのため、体験活動を柱とした学習が円滑に進むような仕組みになっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

校内においては、以下のような方法で評価を行っている。

①学校教育活動の反省の中で、記述式で評価

②学校経営評価において、評価の観点をもとに4段階で評価

外部評価については、学校評価報告書をもとに学校評議員に評価してもらっている。

成果としては、地域の方の協力によって、様々な体験活動が可能となり、子どもたちの学びの幅が広がっている。今後は、体験活動を単元内に効果的に位置づけ、学びの質の向上を図っていくことが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

毎年、特色ある学校づくりの一例として、活動内容を年に１回新聞に掲載している。

本年度、防災に関わる学習については、校区市民館まつりにおいて、活動内容をまとめたポスターを掲示し、校区に向けて発信した。また、ユネスコスクール豊橋大会において、ポスターセッションで活動内容を発表した。

その結果、子どもたちの学びの様子や地域に対する思い・考えを地域の人たちに知ってもらうことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

干潟の生き物調べでは、みなと塾（校区の加藤正敏さん主催）の方々の協力を得、実施時期や調査方法などについて、アドバイスをいただいている。実際の調査にもボランティアとして参加していただき、子どもたちのサポートもしてくださっている。

平和に関する学習では、豊橋ユネスコ協会の方々に協力していただき、市内の戦争遺構についての調べ学習のサポートやゲストティーチャーとして戦争体験談などを語っていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

環境に係わる活動として行っている干潟の調査については、結果をホームページ上に掲載し、活動の様子や生息しているアサリ、生き物などの変容を発信しようと考えている。

また、防災に関わる学習においても、見直しを行った防災コミュニティーマップや子どもたちの活動の様子を掲載し、発信できればと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

毎年，継続して活動を行ってきているため，地域の方々の協力体制が定着してきており，活動そのものが実施しやすくなってきている。干潟の生き物調査では，保護者にもボランティアを呼びかけ，参加してもらうことで，子どもたちの活動の様子を見てもらい，学習活動に対する理解を得ることができた。また，教員の校区に対する理解が深まり，地域の方々とのつながりを築くことにも役立っている。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

環境・防災・平和に係わる学習については，本年度と同様継続して取り組んでいく。各学年の学習単元は以下のとおりである。

①環境に関わる学習

3 年生……前芝生き物たんけん隊

4 年生……アサリと海苔から見える前芝

5 年生……前芝の田んぼ

②防災に係わる学習

6 年生……前芝の防災について考えよう

③平和に係わる学習

6 年生……戦争を通して“今”を考えよう

3・4 年生で実施する干潟の生き物調査，6 年生で作成予定の防災コミュニティマップについては，29 年度の結果を合わせて，ホームページ上に掲載し，情報発信できればと考えている。